

教科(科目)	商業(情報処理)	実施学年 (履修規定)	1学年 必修
単位数	3単位	教科書	一橋出版 情報処理
		副教材	
科目の目標	情報処理機器の活用に関する知識と技術を習得させ、ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割について理解させるとともに、情報を適切に収集、処理し活用する能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの諸活動における情報を収集、処理するための知識と技術を習得する。 ・表計算ソフトウェアの操作方法を習得する。 ・情報処理検定等の資格試験を受験し、知識・技術の理解及び習得状況を確認する。 		

◇ 進度

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	第1章ビジネスと情報処理 1. ビジネスと情報処理 2. ビジネスとコンピューター 3. ハードウェアとソフトウェア 4. 情報モラルとセキュリティ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおける情報の意義や役割を学ぶ ・ビジネス活動のなかで情報を処理し活用する重要性を理解する ・講義ノートの取り方と自己評価表の説明 ・ファイリングの方法を説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表 ・ノート ・課題提出 ・ファイル提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習態度・理解度が十分である ・要点を整理できている ・基礎知識が定着している ・資料を要領よくファイルしている
5	第2章表計算ソフト活用の基礎 1. ビジネスと表計算ソフト 2. 表計算ソフトの基本操作 3. 関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアの基本操作を学習する ・算術演算子・関数(SUM, AVERAGE, MAX, MIN, COUNTA等) ・実習を通じて基本操作を習得する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表 ・ノート ・課題提出 ・ファイル提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習態度・理解度が十分である ・要点を整理できている ・基礎知識が定着しているか。
中間考査 (第1章・第2章)				
6	4. グラフの利用 5. グラフの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・データの収集、整理、分析、活用の基本的な技術を習得する ・グラフ化することで、より視覚的にアピールすることを学ぶ ・確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表 ・ノート ・課題提出 ・ファイル提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習は指示されたことが十分できた ・与えた課題を期限までに提出できた
7	6. 表計算ソフトの応用	<ul style="list-style-type: none"> ・条件の判断・・・IF関数 ・順位付け・・・RANK関数 ・VLOOKUP関数 ・INDEX関数 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表 ・課題提出 ・ファイル提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識が定着している ・授業中の学習態度・理解度が十分である
期末考査 (関数)				
8	夏期休暇	・実力テストの勉強		
9	第2章計算ソフト活用の基礎 7. データ検索 8. 報告書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・データベース統計関数(DSUM, DAVERAGE, DCOUNTA, DMAX, DMIN等) ◎全商情報処理検定3級受験 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表 ・課題提出 ・ファイル提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識が定着している ・授業中の学習態度・理解度が十分である
10	第3章ビジネス情報と情報通信ネットワーク 1. 情報通信ネットワーク 2. ビジネスと情報通信ネットワーク 3. 情報の収集とレポートの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットのしくみを学習する ・インターネットへの接続・電子メールのしくみを学習する 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価表 ・ノート ・課題提出 ・ファイル提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の学習態度・理解度が十分である ・資料を要領よくファイルしている

月	単 元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
1 1	第 4 章データベースソフト利用の基礎 1. ビジネス情報とデータベース 2. データベースソフトの利用	<ul style="list-style-type: none"> データベースについて基礎的な知識を学習する データの収集, 整理, 分析, 活用の基本的な技術を習得させる データベースの基礎的な知識, 利用方法を学ばせる 確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価表 ノート 課題提出 ファイル提出 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の学習態度・理解度が十分である 与えた課題を期限までに提出できた 資料を要領よくファイルしている
	中間考査	(第 3 章・第 4 章)		
1 2	第 5 章ビジネスの計算と表計算ソフト 1. ビジネスの計算と表計算ソフト 2. 金融に関する計算	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス社会における表計算ソフトウェアの利用について学ばせる ビジネス計算の基本知識を学ばせる 課題を与え知識・技術の到達度を知る ビジネス計算の基礎知識を学ばせる 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価表 ノート 課題提出 ファイル提出 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の学習態度・理解度が十分である 与えた課題を期限までに提出できた 資料を要領よくファイルしている
	期末考査	(第 5 章)		
1	全商情報処理検定問題演習	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習してきた内容の理解度を知るとともに, 資格取得を目指す 筆記試験問題を中心に学習する ◎全商情報処理検定 2 級受験	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価表 ノート 確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を要領よくファイルしている
2	3. 証券投資に関する計算 1. 債券の計算 2. 株式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス社会における表計算ソフトウェアの利用について学ばせる 債券・株式計算の基本知識を学ばせる 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価表 ノート 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の学習態度・理解度が十分である 要点を整理できている
3	3. 実習問題	<ul style="list-style-type: none"> 特に株式投資について課題を与え知識・技術の到達度を知る 	<ul style="list-style-type: none"> 課題提出 ファイル提出 確認テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の学習態度・理解度が十分である 資料を要領よくファイルしている 与えた課題を期限までに提出できた
	学年末考査	(情報処理検定 2 級の内容)		

評価の観点及び趣旨

① 関心・意欲・態度

情報処理機器の活用について関心を持ち、その知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動に関する情報を、適切に収集、処理し活用する実践的な態度を身に付けている。

② 思考・判断

情報処理機器の活用に関する諸問題の解決を目指して自ら思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。

③ 技能・表現

情報処理機器の活用に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動に関する情報を適切に収集、処理するとともに、その成果を的確に表現する。

④ 知識・理解

情報処理機器の活用に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割を理解している。

「情報処理」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	15%程度	② 思考・判断	15%程度
③ 技能・表現	15%程度	④ 知識・理解	55%程度